



報道関係者各位

文化・子育て複合施設「おにクル」 オープンから約半年で来館者数 100 万人を突破

令和5年11月26日に開館した茨木市文化・子育て複合施設「おにクル」（茨木市駅前三丁目9番45号）が、6月6日、オープンから約半年（194日目）で来館者数100万人を突破しました。

図書館「おにクルぶっくぱーく」や屋内こども広場「もっくる」を中心に、現在、平日に1日4,000人～5,000人、土日にはそれぞれ10,000人を超える来館があり、茨木の新たなランドマークとして定着しています。



福岡市長から記念品を受け取る菅原さんご一家

6月6日の正午頃に100万人目の来館者となったのは、ベルリン（ドイツ）に住む菅原（すがわら）さんご一家4人です。開館してから初めての来館、この日は一時帰国中でご友人の方と遊びに来られたという菅原さんは、100万人目と告げられ驚いた様子でした。

菅原さんと福岡洋一市長は、演奏隊のファンファーレに合わせて大きなくす玉の紐を引き、たくさんの来館者と一緒に100万人突破をお祝いしました。

菅原さんには、福岡市長から記念品として、おにクルグッズと100万人目の来館者のためだけに作られた「おにクルミラクルメニュー」が授与されました。こちらは、ゴウダホールでの親子向け公演招待チケット、プラネタリウム招待券、屋内こども広場「もっくる」利用券、8月開催のイベント「おにくるグランピング」へのご招待、カフェ「ティコラッテ」のホールケーキなど内容豊富な特別メニューとなっています。

菅原さんは「驚きましたがいい思い出になりました。友人から子どもが楽しめる場所と聞いているので、今日楽しんで、また来たいと思います」と声を弾ませていました。

■福岡洋一市長コメント

開館以降、想定を超える多くの方にご来館いただき、望まれている施設を作ることができたことを大変嬉しく思います。これからも皆さまにとって居心地のよい場となるよう努めてまいります。

